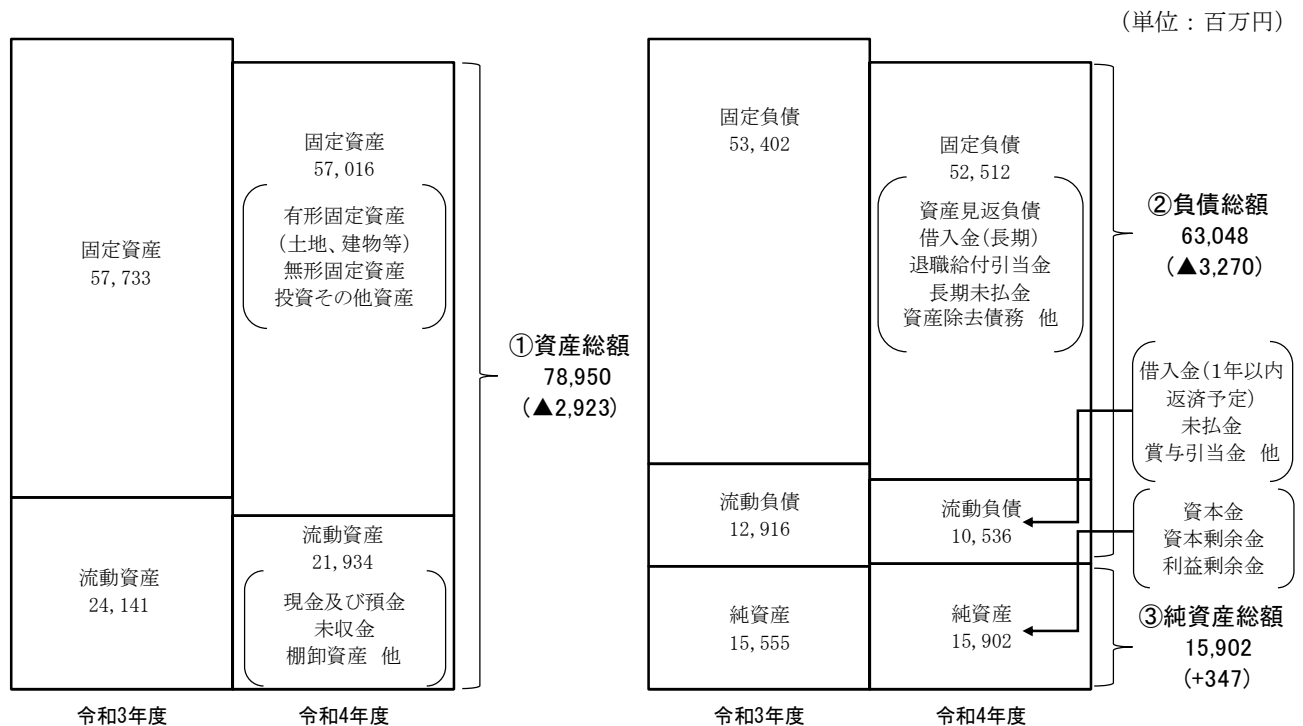


## 令和4年度（第14期事業年度）財務諸表等の概要

## 1 貸借対照表の概要



## ① 資産の総額 789 億 50 百万円 (前年度比 ▲29 億 23 百万円)

- ・固定資産の総額 570 億 16 百万円 (▲7 億 17 百万円)
  - [主な内容] 土地 140 億 28 百万円 (±0 円)
  - 建物 341 億 18 百万円 (▲11 億 38 百万円)
  - 器械備品 58 億 99 百万円 (+ 3 億 41 百万円)
  - 建設仮勘定 1 億 58 百万円 (+ 1 億 32 百万円)
- ・流動資産の総額 219 億 34 百万円 (▲22 億 7 百万円)
  - [主な内容] 現金及び預金 121 億 22 百万円 (▲33 億 22 百万円)
  - 医業未収金 77 億 22 百万円 (+ 5 億 49 百万円)

## ② 負債の総額 630 億 48 百万円 (前年度比 ▲32 億 70 百万円)

- ・固定負債の総額 525 億 12 百万円 (▲8 億 90 百万円)
  - [主な内容] 長期借入金 262 億 4 百万円 (▲ 1 億 78 百万円)
  - 移行前地方債償還債務 98 億 38 百万円 (▲10 億 2 百万円)
  - リース債務 6 億 43 百万円 (+ 6 億 43 百万円)
- ・流動負債の総額 105 億 36 百万円 (▲23 億 80 百万円)
  - [主な内容] 1年以内返済予定長期借入金 25 億 14 百万円 (▲20 億 33 百万円)
  - 医業未払金 13 億 6 百万円 (+ 12 百万円)
  - 未払金 38 億 1 百万円 (▲ 5 億 87 百万円)

## ③ 純資産の総額 159 億 2 百万円 (前年度比 +3 億 47 百万円)

- [主な内容] 当期末処分利益 3 億 47 百万円について、全額を目的積立金に計上する。

## 2 損益計算書（税抜）の概要

（単位：百万円）

区分	令3年度	令4年度	増減
営業収益	50,001	50,291	290
医業収益	40,688	40,837	149
診療収益	40,145	40,290	145
入院収益	26,884	26,716	▲168
外来収益	13,261	13,574	313
その他医業収益	660	659	▲1
保険等査定減	▲117	▲112	5
運営費負担金収益	6,864	6,869	5
資産見返負債戻入	220	230	10
その他営業収益	2,229	2,355	126
営業外収益	374	603	229
運営費負担金収益	136	131	▲5
その他営業外収益	238	472	234
経常収益	50,375	①50,894	519

区分	令3年度	令4年度	増減
営業費用	48,465	49,853	1,388
医業費用	48,080	49,490	1,410
給与費	23,096	23,750	654
材料費	13,164	13,465	301
経費	8,078	8,473	395
減価償却費	3,590	3,595	5
研究研修費	152	207	55
一般管理費	385	363	▲22
給与費	300	278	▲22
経費	69	69	0
減価償却費	16	16	0
営業外費用	563	544	▲19
経常費用	49,029	②50,397	1,368
経常収支	1,347	③497	▲850
臨時損益	▲174	▲150	24
総収支	1,172	④347	▲825

### ① 経常収益 508億94百万円（前年度比 +5億19百万円）

[主な内容]	医業収益	入院収益	267億16百万円（▲1億68百万円）
		外来収益	135億74百万円（+3億13百万円）
[増減要因]	その他営業収益	その他営業収益	23億55百万円（+1億26百万円）
		その他営業外収益	4億72百万円（+2億34百万円）
		入院収益の減は、新型コロナウイルス感染症専用病床の確保等により入院患者数が減少したことなどによる。	
		外来収益の増は、外来化学療法実施件数が増加したことなどによる。	
		その他営業収益の増は、新型コロナウイルス感染症関連補助金の交付額が増加したことなどによる。	
		その他営業外収益の増は、総合病院敷地内保険調剤薬局等貸付料を計上したことなどによる。	

### ② 経常費用 503億97百万円（前年度比 +13億68百万円）

[主な内容]	医業費用	給与費	237億50百万円（+6億54百万円）
		材料費	134億65百万円（+3億1百万円）
		経費	84億73百万円（+3億95百万円）
		減価償却費	35億95百万円（+5百万円）

[増減要因]	給与費の増は、医師数が増加したことなどによる。
	材料費の増については、化学療法に係る薬品費が増加したことなどによる。
	経費の増については、光熱水費が増加したことなどによる。

### ③ 経常収支 4億97百万円（前年度比 ▲8億50百万円）…①－②

### ④ 総収支 3億47百万円（前年度比 ▲8億25百万円）…③＋臨時損益

### 3 キャッシュフロー計算書の概要

(単位：百万円)

資金期首残高 (令4.4.1)	資金増減額			資金期末残高 (令5.3.31)	
	科目	収入(A)	支出(B)		計 (A-B)
現金 3 預金 7,341 7,344	業務活動 材料購入 人件費 医業収入 運営費負担金収入 補助金・寄附金 利息の受取・支払 設立団体納付金	49,847	46,808	3,039	現金 3 預金 7,019 7,022
	投資活動 定期預金 有価証券 有形固定資産 資金除去債務 施設設備補助金 貸付金	18,156	18,313	▲ 157	
	財務活動 長期借入金 移行前地方債償還債務 リース債務返済	2,336	5,540	▲ 3,204	
	計	70,339	70,661	▲ 322	

○ うち長期借入金＋移行前地方債償還債務の状況

長期借入金：県からの借入金

移行前地方債償還債務：地方独立行政法人移行前に借り入れた地方債の償還債務

(単位：百万円)

区分	期首残高 (令4.4.1)	資金増減額			期末残高 (令5.3.31)
		新規借入額 (A)	償還額 (B)	計 (A-B)	
長期借入金 建設改良資金 貸付金	30,929	2,336	4,547	▲ 2,211	28,718
移行前地方 債償還債務	11,832	—	992	▲ 992	10,840
計	42,761	2,336	5,540	▲ 3,204	39,557